



エースファーム

オーナー	株式会社エース
水田面積	15.5アール（約469坪）
保証量	玄米698kg
形態・品種	特別栽培コシヒカリ
ブランド	米風土「海」
Co2回収	約1550kg

生産者



8月に入り雨の日が続き、晴れ間がほとんどありませんでした。日照不足が心配されます。カメムシなどの害虫防除を行うのに、良い日が無く苦労しましたが、なんとか全ての作業を終了しました。これから収穫までの間、周辺の草刈りや田んぼの排水を行いながら、最後の管理を行います。おいしいお米をお届けしますので、楽しみにお待ちください。

高橋 秀紀

8月の作業内容

1. カメムシ防除

カメムシは高温の年に発生が目立ち、実害としては出穂後イネの籾を吸汁します。その結果、精米すると米粒の一部が黒く変色し、お米の等級にも影響を及ぼすため防除を行います。



カメムシ防除

2. 機械点検

9月はいよいよ稲刈りの時期になるため、コンバインをはじめとする穀物乾燥機・籾摺り機、色彩選別機など、あらゆる機械の点検をしっかりと行ないます。



機械点検

※稲の開花と受粉はとても貴重

出穂が始まるとその日のうちに開花が行われ、受粉は開花の瞬間に行われる自家受粉です。その時間はわずか数時間。受粉完了後は花を閉じ、再び開くことはありません。あつという間の出来事です。



稲の開花

※8月の稲育成状況

お米の粒がはっきりとわかる状態まで育ってきましたが、まだまだ薄く中身も液状です。8月中は稲に沢山水分を吸ってもらい、お米の粒を太らせていきます。そして稲穂が重たくなってくると垂れてきます。



8月の稲育成状況